

# よみがえる屋台

## 荒浜

## DIYワークショップ

## ショップ

このワークショップでは、かつて「喜楽」という名前で仙台で活躍していた屋台を修理して、海辺のまちに賑わいを生み出す「動く」拠点としてよみがえらせます。

「喜楽」が営業を始めた一九五六年当時、仙台では他にも一〇〇台近くの屋台が軒を連ねていたといえます。しかしながら、時代の荒波のなかで屋台は数を減らしていき、二〇〇九年には「喜楽」も閉店、いまは一台しか残っていません。

閉店後も有志が保存してきたこの屋台を活用することは、往時の仙台の屋台文化の魅力を後世に伝えていくことにもつながります。また、今回のワークショップでは建築家や工作所の職人の協力を得ながら屋台をよみがえらせるので、そういった「プロ」の技を学ぶ機会にもなります。

なおした屋台は「集まって語らう場」としての機能を活かし、荒浜をはじめとした仙台市沿岸部で活動する方々を紹介する「移動型メディアスタジオ」として活用していきます。



駅前  
に夜の帳が下りるころ、  
赤提灯のともった小さな屋台。  
肩寄せ合ったかつての楽園は、  
夢か現か宵闇のなか、  
今では静かな潮騒をきく、  
あえかな灯台のようです。

- ①台車をつくる 2022年7月17日(日) 13:00～18:00
- ②台車にのせる 2022年7月24日(日) 13:00～17:00
- ③屋根をなおす 2022年7月31日(日) 13:00～17:00

各回 参加費 1,500円 (屋台体験つき) ・定員 10名

会場 荒浜のめぐみキッチン荒浜ベース (仙台市若林区荒浜字新田東 97)



詳細/参加申込  
QRコード

主催 株式会社めぐみキッチン (令和4年度若林区まちづくり活動助成事業)  
arahama.megumi@gmail.com